

# 博士論文発表会日程一覧

※発表会日程順

論文発表会日時 / 場所		専攻	発表者氏名	論文テーマ
12月10日(金)	10:30-11:30	大学美術館 2F バルコニー	山崎 千尋	脳死の表象
	〃	大学美術館 B2F 展示室1	島崎 紗椰	ラオス北部フアパン県サムヌア郡における象獅子紋様の研究 — ラオ・タイ系諸族の紋織物を通して —
	14:30-15:30	大学美術館 3F 展示室3	王 憶冰	ものとしての写真 — デジタル時代における速度への抵抗 —
	15:00-16:00	大学美術館 3F バルコニー	谷本 めい	石による空間構築への軌跡 — 流転するリズム —
	15:45-16:45	大学美術館 3F 展示室3	鈴木 のぞみ	事物の記憶 — 事物が孕む潜像を顕在化させる媒体について —
12月13日(月)	10:30-11:30	大学美術館 3F 展示室3	呉 在雄	動的表現による写真の時間性に関する研究 — 筆者作品《In Between: 見えるものと見えないものの境界》を中心に —
	〃	大学美術館 2F バルコニー	今井 さつき	鑑賞者と作者が共に生み出す体験鑑賞の研究 — 交歓と共創の実践と<PLAY GROUND>という概念の構築 —
	13:00-14:00	大学美術館 3F 展示室4	ユウキユキ	「欲望の受け皿」 — コスプレと承認と愛と、そして —
	15:00-16:00	大学美術館 B2F 展示室2	民部 有桂	初期フランドル絵画の彩色技法研究 — 国立西洋美術館所蔵Joos van Cleve《三連祭壇画:キリスト磔刑》の模写実験を通して —
12月14日(火)	13:00-14:00 一般公開なし	中央棟 第4講義室	大迫 美月	壁面におけるアズライトの緑色化に関する研究
	15:00-16:00	大学美術館 B2F 展示室1	吉野 はるか	デブリという芸術実践
12月15日(水)	10:30-11:30	大学美術館 2F バルコニー	大塚 諒平	水平の想像力をもつ彫刻
	〃	大学美術館 B2F 展示室2	鈴木 七実	平安後期における物語文学の絵画化について — 「梵字経刷白描伊勢物語絵巻」祖本の想定復元研究 —
	〃	陳列館	谷原 佐智	音/エロス — 音と体と心が共鳴し合うユートピア的時間 —
	13:00-14:00	大学美術館 3F 展示室4	李 菲菲	儂の進行態 — はかなく移り行くもの —
	〃	大学美術館 B2F 展示室2	須澤 芽生	相国寺承天閣美術館蔵 円山応挙筆《牡丹孔雀図》の制作技法研究
	〃 一般公開なし	中央棟 第3講義室	中村 仁美	「美術教育」における観察による描画表現の可能性 — 「みてかく」授業の意義と、内容や方法 —
	15:00-16:00	大学美術館 3F 展示室3	倉本 弥沙	彫刻と写真の汽水域 — 作為される光 —
	〃	大学美術館 B2F 展示室2	山口 美波	元代における肖像画制作技法の研究 — 剃髮形中峰明本像の想定復元制作を通して —
12月16日(木)	10:30-11:30	大学美術館 2F バルコニー	SCHELLENBAUM Zoé Sélane	遷るメタファー：アート実践によるゲニウス・ロキの探求
	〃	大学美術館 B2F 展示室1	布下 翔基	「陶壺」による割れた陶磁器の新たな造形表現 — アートプロジェクトを通して見えた割れた陶磁器の作品価値 —
	13:00-14:00	大学美術館 3F 展示室3	和田 宙土	「グロテスク」の潜む身体 — 生命化する流体模様 —
	〃	大学美術館 B2F 展示室2	張 立	建窠における「鷓鴣斑」の研究 — 福建博物院所蔵《黒釉鷓鴣斑盞片「供御」在銘》の想定復元模造を通して —
	15:00-16:00	大学美術館 3F 展示室3	角谷 紀章	「ノイズ」を通じた被写体の絵画化
	〃	大学美術館 2F バルコニー	岡本 羽衣	クオリタティブ・エヴィデンス
	〃	大学美術館 B2F 展示室1	臧 傑	友禅染技法と中国の刺繍技法の融合研究と応用 — 中国神話哲学の芸術表現の可能性 —
12月17日(金)	10:30-11:30	大学美術館 B2F 展示室1	高橋 賢悟	Material Maximalism (素材極限主義) による命の転写 — 生、死、そして祈りへ —
	13:00-14:00	陳列館	高橋 臨太郎	「象る」制作論
	〃 一般公開なし	中央棟 第3講義室	新川 美湖	中学校美術科における「日本絵画」教育の研究

※大学美術館、陳列館 で行われる論文発表会は一般公開しておりますが、状況により人数制限をする場合がありますのでご了承ください。